横浜の中学生が 2012 年４月から使う

育鵬社の教科書を知ってますか？

育鵬社の教科書の特徴

１．平和憲法を変えようとしています。
２．過去の日本の戦争を正しいものとして描こうとしています。
３．原発を推進しようとしています。

日本国憲法は、

・国民が国の主人公
・戦争をしない
・すべての人を大切にする

これが柱です

１．育鵬社教科書は、

平和憲法を変えようとしている

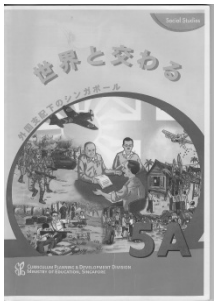
自衛隊が海外で武力行使しないと国際貢献ができないと考えています。
日本はすでに右図のような兵器を持って多額の軍事費を毎年使っています。
しかし、他の教科書では国際貢献は、医療、教育、技術援助（農業、工業、土木）が求められています。と書かれています。

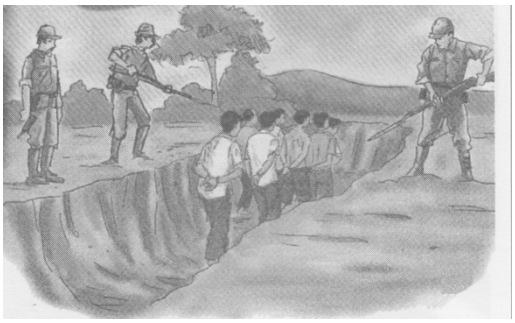
F－15 戦闘機 約102億円（202機）

90式戦車 主力戦車
8億8500万円（880両）

イージス艦「こんごう級」「きりしま」
1243億8900万円（6隻）
潜水艦16隻その他80隻

値段は United weapon の兵器価格総覧より
写真は自衛隊の HP より





穴を掘って日本軍が銃剣で住民を脅している場面
シンガポールの小学5年生の教科書では日本軍の残虐行為の数々を紹介しています

２.育鵬社教科書は、

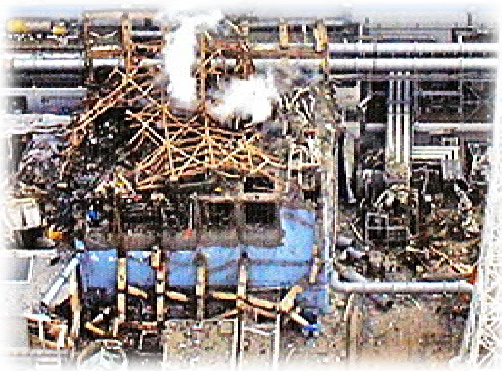
過去の日本の戦争を正しいものとして描こうとしています

太平洋戦争を大東亜戦争という戦争中の言葉を使い、アジア解放のためであったかのように描かれています。

３.育鵬社教科書は、

原発を推進しようとしています

「市民が原子力発電所と共存し、安心して生活できるよう国や市や事業者が全力で取り組むことが求められています」と話し合い学習の形式をとりながら、国策を支持するよう誘導しています。



出典：東京電力の「報道配布写真・動画ダウンロード」より

港南区教科書採択連絡会　連絡先　内田 831-6907